

思いはばたく 音楽の日

INAMORI

ミュージック・デイ

(指揮)
杉本優



©Taira Takradate

(ヴァイオリン)
周防亮介



©TAKUMI JUN



©井上写真事務所 井上嘉和

Program

外山雄三：京都幻想
Yuzo Toyama : FANTASIA KYOTO

コルンゴルト：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
Korngold : Violin Concerto in D major op.35

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 作品92
Beethoven : Symphony No.7 in A major op.92

2022 9/4 @発売 全席指定 2,000円

チケットご予約
・京都コンサートホール (075) 711-3231
・ロームシアター京都 (075) 746-3201
・24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

2022 11/3 (木祝)

14:00開演 (13:00開場)

ロームシアター京都
メインホール

- 京都市営地下鉄東西線
「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統
「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統
「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

主催：公益財団法人稲盛財団

共催：京都市交響楽団（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）

後援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都銀行、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

杉本 優 Yu Sugimoto 指揮



©Taira Tairadate

1990年生まれ。5歳よりピアノを始め、中学2年生の時に大友直人指揮京都市交響楽団と共演。ウィーン国立音楽大学ピアノ室内楽科を経て、ハンブルク音楽演劇大学指揮科を卒業。これまでにピアノを梶紀子、椿久美子、福井尚子、野原みどり、Avedis Kouyoumdjianの各氏に、指揮を小澤征爾、湯浅勇治、Ulrich Windfuhrの各氏に師事。

高校在学中の2008年から2013年までローム・ミュージックファンデーション音楽セミナー指揮者クラスに参加。同セミナーの指揮研修生として、特に小澤征爾氏のレッスンは度々受講した。

2013年、鎌倉での小澤征爾音楽塾特別演奏会を指揮。同年、サイトウ・キネン・フェスティバル松本の青少年のためのオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を指揮しオペラデビューも果たしている。その後神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団、ドイツのハンブルク交響楽団、ドレスデン州立オペレッタ管弦楽団、デトモルト州立歌劇場管弦楽団、フィルハーモニー・バーデン＝バーデン、テューリングン交響楽団、シュターツカペレ・ハレ管弦楽団、ミュンスター交響楽団、ハイデルベルグ・フィルハーモニー管弦楽団、イタリアのアブルッツィ交響楽団等を指揮。オペラの分野でも、「魔笛」、「皇帝ティートの慈悲」、「リゴレット」、「エウゲニ・オネーギン」、ヘンデル「アルチーナ」、「オレステ」、ウルマン「アトランティスの皇帝」といった、バロックから現代にいたるまでのレパートリーを着実に取り組んでいる。

指揮活動と並行して、現在もピアノ奏者として、各演奏会、音楽祭に出演。ヨーロッパ（オーストリア、チェコ、フランス、ドイツ、イタリア等）を中心に、室内楽等で活動している。2012年・2013年度ローム・ミュージックファンデーションの奨学生。2008年度京都芸術祭京都新聞社賞、2014年度滋賀県次世代文化賞を受賞。2016年～2018年、オーケストラ指揮者では日本人で初めてドイツ音楽評議会のDirigentenforumに登録された。2019年プザンソン国際指揮者コンクールにて、セミファイナルに進出。現在ブレーメン歌劇場指揮者兼ソロレペティター。

周防 亮介 Ryosuke Suho ヴァイオリン

1995年京都に生まれ、7歳よりヴァイオリンを始める。

2016年ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞及び審査員特別賞を受賞。その他にも日本音楽コンクールや東京音楽コンクール、ダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクール、クロスター・シェンタール国際ヴァイオリンコンクールなど、数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。

2015年「第25回出光音楽賞」、2016年「第25回青山音楽新人賞」を受賞。

12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、パリ国立歌劇場管弦楽団、ボズナンフィルハーモニック管弦楽団、サンクトペテルブルク国立アカデミー管弦楽団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、プラハ室内管弦楽団、アマデウスポーランド放送室内管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団など、数多くの国内外オーケストラと共演。また15歳で初リサイタルをおこない、清水和音や江口玲、上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2021年5月にはオクタヴィア・レコードより初のコンチェルト・アルバム『チャイコフスキー&メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲』をリリース。

これまでに岡本智紗子、岩谷悠子、小栗まぢ絵、大谷康子、原田幸一郎、神尾真由子、マキシム・ヴェンゲーロフの各氏に師事し、東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースを修了。現在は江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーにて研鑽を積んでいる。

使用楽器はNPO法人イエローエンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。



©AkiraMuto

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra



©井上写真事務所 井上嘉和

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ベンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

中高生を対象に約300名を無料でご招待します。
お申込はこちら <https://forms.gle/dyK2E29GKvypWYbw7>
応募締め切り：2022年10月3日(月)



- ・入場の際には学生証のご提示が必要になります。
- ・一度にお申込みできるのは1名のみです。
- ・応募者多数の場合は抽選とし、招待メールの送信をもって当選者の発表といたします。

関連プログラムのご紹介

「INAMORI ミュージック・デイ 2022」
ミニコンサート at 京都市京セラ美術館 (無料・申込不要)

美術館で京都市交響楽団のメンバーがアンサンブルを奏でます。音楽と美術、二つの芸術の出会いをぜひお楽しみください。

日時：2022年10月15日(土) 13:00～、15:00～
2022年10月26日(水)、28日(金) 11:00～、13:00～
(各日・各回30分公演)

会場：京都市京セラ美術館 中央ホール
出演：京都市交響楽団
協力：京都市京セラ美術館



©Shinya Kigure

「INAMORI ミュージック・デイ 2022」
スクールコンサート&レッスン

世界で活躍する若手音楽家が学校に訪問し、生徒たちの前で演奏を行います。音楽家と直接交流し、未来への展望を膨らましてもらうことを目指します。今年は京都府立亀岡高等学校にて杉本氏と周防氏が全校生徒に向けたコンサートを実施します。その後、吹奏楽部と合唱部を対象とした演奏指導を行います。

公益財団法人稲盛財団は、京都市交響楽団、出演アーティストと協同して、文化芸術振興を目的としたプログラム「INAMORI ミュージック・デイ」を始めます。このプログラムでは、市民や学生などの参加者が、文化芸術のすばらしさを再発見し、人生をより豊かにするための機会を提供していきたいという思いから、毎年11月3日「文化の日」、京都市交響楽団と招聘アーティストによるコンサートを開催することにいたしました。また同時期に、出張コンサート・出張授業などのイベントを企画し、より多くの方が音楽と出会う機会を創出いたします。



「人類の未来は、科学の発展と人類の精神的な深化のバランスがとれて、初めて安定したものになる」という創立者 稲盛和夫(京セラ株式会社 名誉会長)の理念のもと、1984年に設立されました。国際賞「京都賞」、研究助成、社会啓蒙の三つの事業を通じて、学術の発展と文化芸術の振興に貢献しています。